

事業番号	10 02 26	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	林業総合センター体験学習の森事業費			担当課	部局	林務部	
					課・局・室	信州の木活用課	
					E-mail	<a href="mailto:ringvo@pref.nagano.lg.jp">ringvo@pref.nagano.lg.jp</a>	
総合5か年計画	プロジェクト			実施期間	S63 ~		
	施策の総合的展開	1-4 森林を活かす力強い林業・木材産業づくり 4 様々な主体の関わりによる森林の適正管理と多様な利活用の推進					
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針						
	施策展開						

## 1 事業の概要

目指す姿	水源かん養・防災・地球温暖化の緩和等多様な機能を有する森林に対する県民の期待や関心が高まっている今日、公開講座の開催や展示資料の充実を図り、より多くの県民に森林・林業に対する正しい知識や技術の一層の普及啓発を図り、健全な森林づくりを推進する。											
現状（予算編成時）	<p>○H26年度体験学習の森利用状況          森林教室 723人 林業作業体験講座 189人 市民講座 85人（講座参加者計 997人：定員充足率91%）          森林学習展示館利用者 16,657人 緑の体験(キャンプ等) 4,187人</p> <p>○平成27年度は、森林教室等の内容充実を図り講座参加者1,000人程度を見込む(定員充足率は85%以上を目指す)</p> <p>○参考)定員充足率の推移 H24:70% H25:80% H26:91% (平均81%)</p>											
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】 県有施設の管理運営									
	県民との協働による実施： 実施中											
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)											
	○森林学習展示館で主催する森林教室、林業作業体験講座、市民講座の実施回数の内容を充実させ、参加者の定員充足率について過去の平均(81%)を超える85%以上を目標とする。											
	② 事業内容 (単位:千円)											
		項目	実施方法	H28事業実績		H28 (当初)	H28 (決算)	H29 (当初)				
	各種講座の参加人数増加	直接	森林教室22回、市民講座5回、林業体験講座12回を開催した。 講座の開催方法を見直し、参加者募集のPRを推進した。		3,512	3,422	3,554					
			合計		3,512	3,422	3,554					
事業コスト	区分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28		H29目標	
		当初予算	3,460	3,512	3,554				目標	成果		達成状況
		補正予算				講座の定員充足率(%)	91	93.6	85	90.4	達成	85
		合計(A)	3,460	3,512	3,554							
	Aの財源	一般財源	3,449	3,500	3,544							
		県債										
		国庫支出金										
		その他	11	12	10							
	決算額(B)		3,383	3,422								
概算人件費	職員数(人)	3	3	3.00								
	概算人件費(C)	24,828	23,742	23,742								
概算事業費(B(A)+C)		28,211	27,164	27,296								
目標に対する成果の状況	講座内容の見直しとPRの推進により、目標の85%を上回る多くの参加を得た。(90.4%) 講師に、日本の刃物研磨の第一人者を据える等、やり方も工夫し、多くの講座で定員を上回る募集があった。											

## 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	人気講座の充実など、今後も県民の要望を踏まえた講座の開催を推進し、多くの県民に森林林業の「体験」を基本とした基礎知識の習得を行う機会を提供する。